DS-HW20 組立説明書

SDS エス・ディ・エス株式会社
本社：石川県白山市横江町1003番地
TEL:0120－74－1003

ver1.4

注意　ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

■ 安全にご使用頂くために

本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。

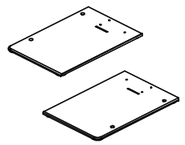
⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意　この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

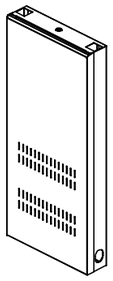
1. セット内容

番号	部 品 名	数量	番号	部 品 名	数量	番号	部 品 名	数量
①	ベース	2ヶ	⑥	ディスプレイ取付金具	2ヶ	⑪	取付金具固定ノブ	2ヶ
②	下部フレーム	1ヶ	⑦	位置決め金具	2ヶ	⑫	六角レンチ	1ヶ
③	上部フレーム	2ヶ	⑧	六角穴付きP3ボルト M6×12	6ヶ	⑬	ブランクシール	4ヶ
④	背面金具	1ヶ	⑨	六角穴付きボルト M6×20	8ヶ	⑭	鍵	2ヶ
⑤	マウントプレート	1ヶ	⑩	ナベP3ネジ M4×12	4ヶ			

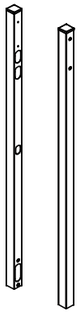
①



②

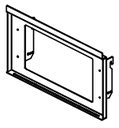


③



④

⑤

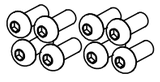


⑥

⑦

⑧

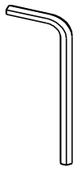
⑨



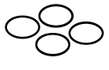
⑩

⑪

⑫



⑬



⑭

●組立を行う前に

■組立てる前に必ず内容物を確認してください。
■組立てる際は広い場所で作業し、毛布などで床面にキズがつかない様行ってください。
■組立作業はなるべく複数の作業者で行ってください。転倒し怪我をする恐れがあります。

2. 組立手順

1 ベース＆下部フレーム ⚠ 警告

⚠ 警告
下部フレームを組み立てる際は二人以上で行い下部フレームが転倒しないよう保持して組立ててください。

■下部フレームからフレームカバーを取り外してください。また、下部フレームの中に入っているディスプレイ取付金具を取り出してください。(図1)
■ベースをゴム板がついている面を地面に向け左右揃えて並べ、下部フレームをベースの上に乗せます。
■下部フレーム側から付属の六角レンチと六角穴付きP3ボルトM6×12で6箇所を固定してください。(図2)
※下部フレーム固定時、作業に支障がある場合は機器収納金具を取り外してください。
取り外し方法は、取扱説明書の1-3項「機器収納金具」をご参照ください。

図1

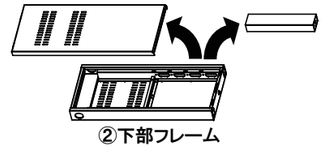
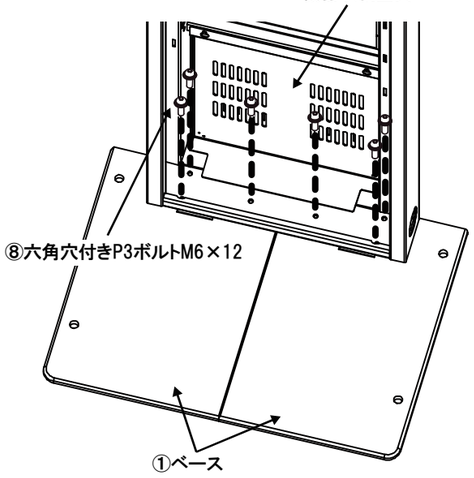


図2



2 上部フレーム

■ディスプレイを取り付ける高さを決め、位置決め金具を下部フレームに引っ掛けます。(図3)
■上部フレームを下部フレームの上から差し込み、位置決め金具で止まるまで差し込みます。(図4)
上部フレームを下部フレームの内側から4箇所六角穴付きボルトM6×20で固定します。

図3

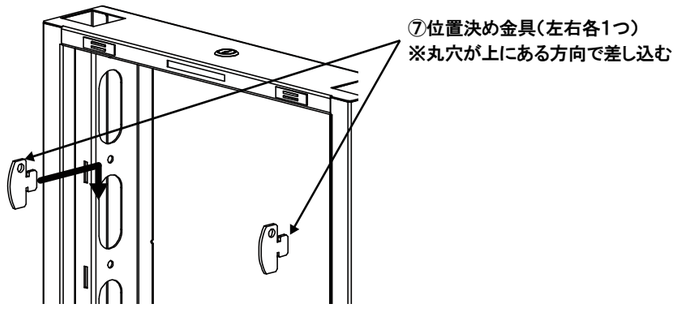
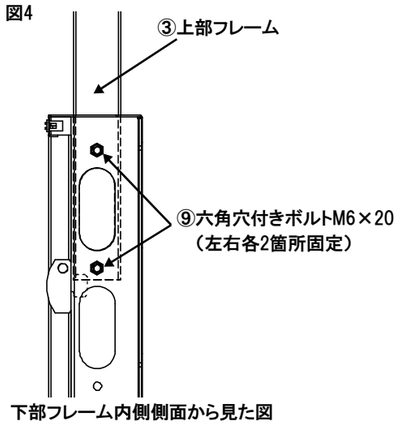


図4



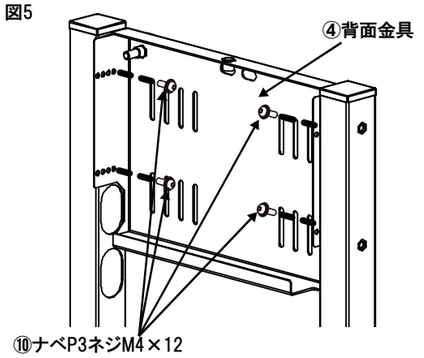
下部フレーム内側側面から見た図

3 背面金具 ⚠ 警告

⚠ 警告
背面金具を取付ける際は二人以上で行い、背面金具が落下しないよう保持して組み立ててください。

※必ずマウントプレートより先に背面金具を取り付けてください。
■背面金具の内側よりナベP3ネジM4×12で4箇所を固定してください。(図5)
■背面金具は4段階(7.5mmピッチ)で壁面側へスライドして固定することが出来ます。
スタンドが壁面から離れている場合などで、調整してお使いください。

図5



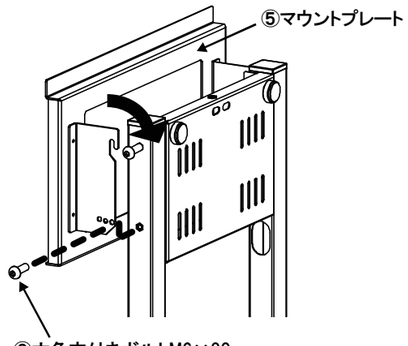
SDS エス・ディ・エス株式会社 本社：石川県白山市横江町1003番地
TEL:0120－74－1003

4 マウントプレート ⚠ 警告

⚠ 警告
マウントプレートを取付ける際は二人以上で行い、マウントプレートが落下しないよう保持して組み立ててください。

■上部フレームの上部穴に六角穴付きボルトM6×20を左右1本ずつ5回転ほどしめて軽くとめます。
次に軽くとめたボルトにマウントプレートを引っ掛けてください。
■引っ掛けた状態で下部穴へ六角穴付きボルトM6×20を通し、六角レンチにて4箇所すべてしっかりと固定してください。(図6)

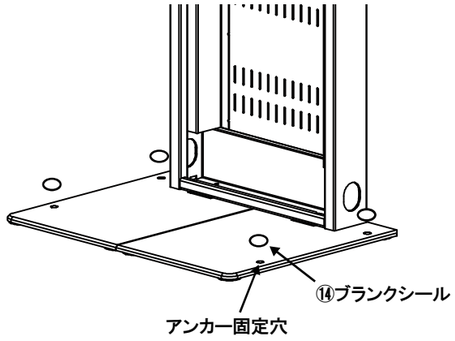
図6



5 ブランクシール

■ベースをアンカーボルトで固定しない場合、アンカー固定穴にブランクシールを貼り付けてください。(図7)

図7



6 フレームカバー

⚠ 警告
フレームカバーの固定後は、必ず鍵をかけてください。鍵をかけていない状態では、振動や衝撃でフレームカバーが外れる可能性あり、機器の破損や怪我をする恐れがあります。

■フレームカバーの下部にある突起をベースの受け穴に差し込んで位置を合わせてください。(図8)
■フレームカバーを下部フレーム側へ起こし、マグネットにて固定してください(図9)

図8

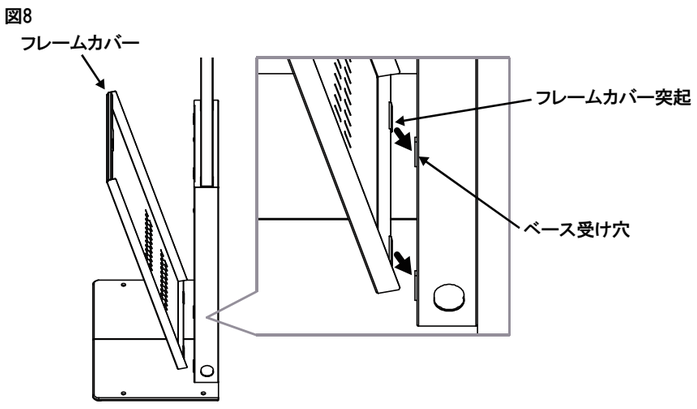
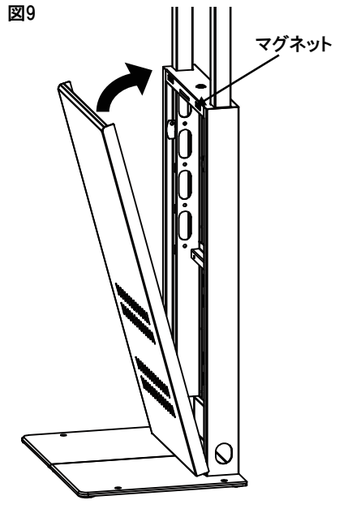


図9



3. アンカー固定

⚠ 警告
■本製品は、 通常使用時に転倒し難いように転倒角度 15 度以上で設計された製品ですが、 背が高い製品の特性上地震等の揺れで転倒した場合、 人が障害を負うなど大きな被害が発生する可能性がありますので必ずアンカー固定を実施してください。
■アンカー固定穴は壁面と床面にありますので、 設置環境に合わせて選択してご使用ください。
■アンカー固定は工事施工会社または工務部門の方へご依頼ください。
※弊社でアンカー工事施工は行なっておりません。

1 壁面でアンカー施工する場合

■背面金具より壁当て用アジャスターを取り外してください。(図10)
■図12の取付ピッチを参考に、アンカー施工をしてください。
※施工用のアンカーは付属しておりません。
※適用アンカーサイズはM4もしくはM5です。

図10

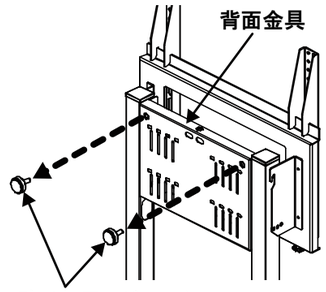


図11

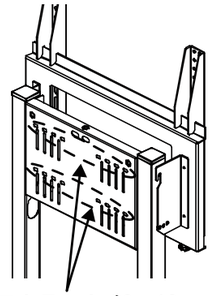
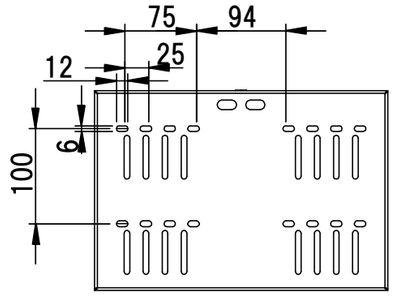


図12



2 床面でアンカー施工する場合

■ベース底面より床面傷防止用ゴム板を取り外してください。(図13)
■図15の取付ピッチを参考に、アンカー施工をしてください。
※施工用のアンカーは付属しておりません。
※適用アンカーサイズはM10です。

図13

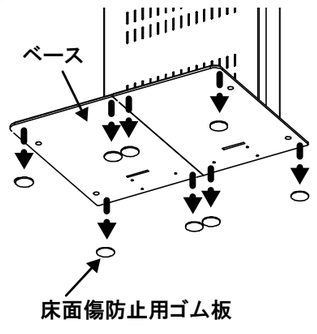


図14

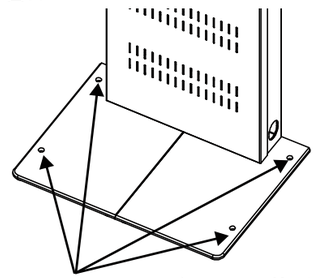
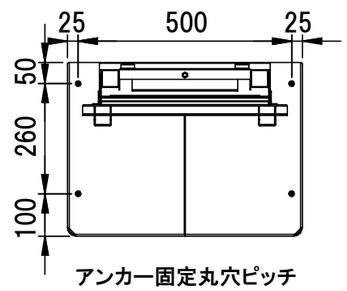



図15